

やまだ

3年ぶりの「にじいろ班交流遠足」

校長 青木 清美

今年度、3年ぶりに実施するに当たって、安全確認のため、夏休み中に、学校職員で下見を行いました。また、感染拡大防止対策（特に昼食時のルール決め）を講じて実施しました。

【保護者、地域のボランティアの皆様へ感謝！ 徒歩と活動の見守り】

ボランティアとしてご参加いただいた皆様から「お気付きの点」を、記入してもらいました。何人かの方の文を掲載します。（一部を抜粋しています。また、内容や意図が著しく変わらないと判断した場合、表記を変更させていただいたところがあります。ご了承ください。）

1～3年生のみんなも初めてなのに、頑張って歩いたなと思います。

6年生の班長さんはもちろんですが、副班長さんが少しずつ遅れてしまった1年生のフォロー（一緒に歩いたり、励ましたり）をしていて、とても良かったです。

班は違っても、高学年の子、教職員、ボランティアの方々が「頑張れー、もう少しだよ」と声を掛けていってくださり、子どもたちの励みになっていました。

高学年の子どもたちが、とても頼もしく見えた遠足でした。

毎回感じるのは、班長さんを中心に、高学年の子どもたちが、がんばっているなということです。声を掛けたり、荷物を持ってあげたり、一緒に歩いてくれたり。今年は3年ぶりだったので、特に6年生の成長を見ることができました。

8km歩いても、公園で元気に遊び回る子どもを見て、遠足はいいなあと思いました。

あと2年ボランティアに参加し続けたいと、あらためて思いました。

女の子の声掛けや対応がとても良くてすてきでした。歩くことに慣れていないお子さんは大変そうでしたが、帰る頃には元気になっていたのが安心しました。

今回、参加させていただき、いつもとは違った角度から学校の様子を見ることができて良かったです。たくさんの方々に見守られ、サポートされながら学校生活を送っているのだと感じました。

校外で、異学年の子どもたちが協力して歩く、活動する、遊ぶためには、大人の見守りが欠かせません。教職員だけでなく、保護者、地域の皆様のボランティアの見守りがあったので、安全に安心して活動できました。それだけではありません。ボランティアの皆様からは、子どもたちの良さ、頑張る姿も見ていただいたことが分かります。大勢の方から記入していただきました。ご協力ありがとうございました。

「お気付きの点」で、ご指摘やご意見をいただいたことは、改善に向けて検討していきます。

「にじいろ班交流遠足」に限らず、これからも山田小学校では異学年交流の活動を大切にしていきます。いろいろな経験をして、学びを得ることができる教育活動ですから。